

火宅の人 (1986)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 文芸

製作国 日本

色彩 Color

時間 132分

初公開日 1986/04/12

公開情報 東映

【解説】

家庭を捨て、新劇女優と同棲するなど、苦悩を抱えながらも自由奔放に生きた放浪の作家・檀一雄の自伝的同名小説を「蒲田行進曲」の深作欣二監督が映画化した人間ドラマ。作家・桂一雄は、先妻に先立たれ後妻としてヨリ子をもらう。ヨリ子は腹違いの一郎をはじめ5人の子どもを育ててきた。が、子どものひとりが日本脳炎にかかり重い障害が残ってしまうと、怪しげな宗教にすがらようになっていく。同じ頃、一雄は新劇女優の恵子の虜になり、やがて家を出て恵子と同棲を始める……。

【クレジット】

監督	深作欣二	Kinji Fukasaku	
企画	高岩淡		
	佐藤雅夫		
プロデューサー	豊島泉		
	中山正久		
原作	檀一雄		『火宅の人』
脚本	神波史男		
	深作欣二	Kinji Fukasaku	
撮影	木村大作		
美術	佐野義和		
	秋吉泰海		
編集	市田勇		
音楽	井上堯之		
助監督	藤原敏之		
出演	緒形拳	桂一雄	
	いしだあゆみ	ヨリ子	
	原田美枝子	矢島恵子	
	松坂慶子	葉子	
	利根川龍二	一郎	
	一柳信之	次郎	
	大熊敏志	弥太	
	谷本小代子	信子	
	浅見美那	滝	
	檀ふみ	桂一雄の母	
	石橋蓮司	桂一雄の父	

伊勢将人		一雄の幼少期
宮城幸生		刑事
蟹江敬三		主任
野口貴史		幹事
相馬剛三		医師
下元勉		病院の主事
井川比佐志		壺野
荒井注		苅田
下條アトム	Atom Shimojo	中島
山谷初男		葉子の養父
宮内順子		葉子の養母
真田広之	Hiroyuki Sanada	中原中也
岡田裕介		太宰治